

研究課題名	うつ病・躁うつ病・難治性うつ病の診断・治療法の創出のための脳機能画像研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科 特定教授 岡田 剛
研究期間	許可日 ~ 2026年3月31日
対象者	2009年8月から 2023年7月の間に、広島大学病院精神科で研究に参加された患者および健常ボランティアの方。
意義・目的	精神医学分野の研究に真の飛躍をもたらすためには、研究リソースを今まで以上に充実させ、画一的に品質管理し、複数の研究機関で相互運用することが重要との認識が広まりつつあります。さらには、広く研究者が利用できるような、自由閲覧可能なデータベースの構築が、精神医学分野における研究の創出・推進をもたらす可能性が非常に高いと考えております。
方法	<p>本研究は、過去に研究用に撮像し対象者を識別できないように個人情報加工をされた MRI データを含む試料・情報を、完全に個人を識別できないようにした上で、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部で行われる「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究（研究代表者：橋本亮太）」で構築している精神疾患データベースに登録します。匿名化された試料・情報には、精神疾患データベース研究用の研究対象者識別コード（1次ID）が付与され、精神疾患データベースに送付されます。精神疾患データベースに登録された試料・情報は、精神疾患データベースの利活用委員会の承認を受けた国内外のアカデミアの研究機関、企業、公的データベースの精神疾患の病態を解明し、診断法・治療法を開発・普及し、精神疾患の障害を支援することに資する研究に提供され、それ以外の目的で利用されることはありません。</p> <p>本学において他の研究で二次利用をする場合は現在御覧いただいている HP (https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx) へ掲載し、拒否の機会を保障します。</p>
研究の実施体制	<p>研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科 特定教授 岡田 剛</p> <p>研究機関の長 広島大学 理事 田中 純子</p> <p>共同研究機関</p> <p>精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究 (https://byoutai.ncnp.go.jp/database/) に参画している全国の大学・研究機関</p>
個人情報の保護について	<p>データは全て新たに付された符合との対応表を残さない匿名化により、完全に個人の特特定できないようにします。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究にデータを提供したくない場合は <u>2023年11月1日</u>までにお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5814

広島大学病院 精神科 特定教授 岡田 剛

研究員 上敷領 俊晴